文法への扉2 走る。走らない。走ろうよ。（用言の活用）⑴

活用

文中で、言葉の組み合わせに応じて単語の形が変化することを、**活用**という。自立語では**用言**（動詞・形容詞・形容動詞）が活用する。

・**動詞**………動作・作用・存在を表す。言い切りが「**ウ段**」で終わる。
・**形容詞**……状態・性質を表す。言い切りが「**い**」で終わる。
・**形容動詞**…状態・性質を表す。言い切りが「**だ・です**」で終わる。

単語が活用するときに、形が変わらない部分を**語幹**、形が変わる部分を**活用語尾**（ごび）という。

（例）［話］す｜＋た　→　［話］し｜　た
［明る］い｜＋なる　→　［明る］く｜　なる
［静か］だ｜＋なる　→　［静か］に｜　なる

動詞の活用形

活用で変化した単語の形を活用形という。動詞の活用形は６種類に分けられる。

①**未然形**…まだ動作・状態が実現していないことを表す形。
　助動詞「ない（ぬ）」「う（よう）」「れる（られる）」「せる（させる）」などが続く。
②**連用形**…他の用言や、助動詞「ます」「た（だ）」、助詞「て（で）」などが続く形。
③**終止形**…言い切る形。
④**連体形**…体言や、助詞「ので」「のに」などが続く形。
⑤**仮定形**…もし～すれば、と仮定する形。助詞「ば」が続く。
⑥**命令形**…命令して言い切る形。

基本形	活用形／続き方／語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	仮定形	命令形
	続き方	―ない ―う（よう）	―ます ―た（だ） ―て（で）	―。 言い切る。	―とき ―こと ―ので	―ば	―。 命令して言い切る。
話す	はな	さ そ	し	す	す	せ	せ

確認テスト

(1) 動詞「書く」を、解答欄（かいとうらん）に合わせて形を変えなさい。また、「書く」の語幹をひらがなで答えなさい。

[　　]ます　　語幹[　　]

(2) 形容詞「暑い」を、解答欄に合わせて形を変えなさい。また、「暑い」の語幹をひらがなで答えなさい。

[　　]なる　　語幹[　　]

(3) 形容動詞「おだやかだ」を、解答欄に合わせて形を変えなさい。また、「おだやかだ」の語幹をひらがなで答えなさい。

[　　]なる　　語幹[　　]

(4) 動詞「行く」を、①～④の続く言葉に合わせてそれぞれ形を変え、ひらがなで答えなさい。

① [　　]ない　　② [　　]う

③ [　　]ます　　④ [　　]ば

(5) 次の①～⑥の――線部の動詞の活用形の種類を、それぞれ**ア**～**カ**から選びなさい。

① 校庭で走る。[　　]　　② 走る人を見た。[　　]

③ いざ走れ。[　　]　　④ 走れば間に合う。[　　]

⑤ 私が走ります。[　　]　　⑥ まだ走らない。[　　]

ア 未然形　　**イ** 連用形　　**ウ** 終止形

エ 連体形　　**オ** 仮定形　　**カ** 命令形